

雑誌『an・an』・『non-no』の占い欄に見る女性像 の変遷

渡部万由子

本論文は、女性誌『an・an』と『non-no』に掲載された占い欄に着目し、1980年代、2000年代、2020年代の3時代を比較し、女性像の変遷を分析した。各年の、1月・6月・12月号に掲載された占い項目や内容を検討し、各時代の社会背景や女性の意識変化が占いにどのように反映されたかを明らかにした。

分析の結果、『an・an』では、1980年代には恋愛や結婚運が重視されていたが、2000年代以降は全体運や仕事運が増え、2020年代にはキャリアやスキルアップをテーマにした項目が登場するなど、恋愛中心から多様な運勢への移行が見られた。一方、『non-no』では1980年代から一貫して恋愛運が重視されており、『an・an』と『non-no』では女性像の表象に違いがあることが分かった。

本研究は、占いを通じて女性誌が示す価値観や女性像の変化を浮き彫りにし、時代ごとの女性のライフスタイルや社会的役割への理解を深めることに寄与する。さらに、占い内容の具体的な分析を行うことで、より包括的な研究の可能性が示唆される。